

かがやき

学校だより第 10 号

令和 2 年 12 月 25 日

草津市立山田小学校

や やさしく・・・人権を大切にする いじめを許さない

ま まけない・・・よく考え ねばり強くやりぬく

だ ダイナミック・・・たくましく力強く 生き活きとしている

Ally (アライ) であるということ

『あらゆる人権課題に対して“アライ”という人間関係を築くことが大切である。』

NHK・E テレの「バリバラ」というテレビ番組を観ていた時に、大学の先生が話した言葉がとても気になりました。まずは、“アライ”って何だろうというのが率直な疑問でした。

“アライ”は、はじめは LGBT の支援者という意味で使われた言葉だそうです。もともと英単語の Ally (アライ) は「同盟」や「仲間」を表す単語です。そこから転じて LGBT 当事者たちに共感し、支援し、寄り添う人を指すようになったそうです。また、最近では、LGBT に限らず、あらゆる人権課題に対する支援者にも、“アライ”という言葉を使うようです。前述の大学の先生の言葉は、このことを意味していたのです。

ここ数年、人権課題に対して“アライ”宣言をする企業が増えてきています。一方、人権課題に対して差別的な対応をする企業は批判にさらされています。つまり、世の中は“アライ”であることを求める方向に進んでいるのです。しかし、今でも世の中には多くの人権課題が存在します。LGBT 差別、障がい者差別、外国人差別、男女差別、高齢者差別、同和問題、いじめ問題など課題は山積みです。

山田小学校では、これから世の中に出ていく子どもたちには、ぜひ人権課題に対する“アライ”になってほしい。それを願って教育活動に取り組んでいきたいと思えます。もちろん、子どもたちを取り巻くわれわれ大人が“アライ”であることは当然ですが。

校長 南 喜普